

おお大勝利

平成 20 年度山東サッカー部報第 11 号 (7 月 12 日)

サッカー部保護者の皆様、OBの皆様、日頃より本校サッカー部の活動にご理解とご協力を賜りまして、感謝申し上げます。

新チーム厳しい船出 県リーグ2連敗スタート

先日 2 日間にわたって県リーグ戦が行われました。山東は新チームとなつての初陣となりました。

7 月 5 日土曜日の相手は城北高校。城北も県総体後、多くの 3 年生が引退し、3 年生が二人しか残っておらず実質的には新チーム。その事情もあり、また 2 年生は去年の一年生大会で 0-5 で惨敗しているという「借り」もあるので、勝利を手にしたかった試合。山東は旧チームでは MF だったが新チームでは FW として先発した五十嵐が前線でためを作り攻めるも、相手ゴールには迫れず。逆に城北の攻撃は鋭く正確で、山東は「あっ」という間に 3 失点。それぞれの失点間の間隔が短かったというわけではなく、ボールを失ってすぐ、あっけなく奪われたという印象の失点ばかり。経験不足、連携不足とまとめるのは簡単ですが、対人 (1 対 1 の勝負) で粘ることの重要性は小学生でも分かる話。まだまだ高校生の試合ができていないという印象の試合で、悔しい敗戦となりました。城北戦は「借り」を返すため、ひそかに燃えていたのですが・・・。次戦に持越しです。

7 月 6 日日曜日は日大戦。言わずと知れた因縁の相手 (こちらが重要なところで負けてばかりなので、因縁と思っているのは山東だけでしょうが)。山東は昨日の敗戦で吹っ切れたか、いいリズムでの出だし。特に日大戦から左 MF の先発で起用された **2 年阿部** が、鋭いターン・ドリブルで山東オフェンスに新鮮な風を送りこむ。日大は山東のプレスが甘いせいか正確なロングボールを FW に供給し、山東 DF を苦しめる。FK を直接決められ先制を許し、その後もセットプレーからのヘディングで失点。山東はスローイン時を含めマーキングが甘く、日大の選手に自由にプレーさせてしまう。0-2 から結構惜しいチャンスを作り出すも、「拙攻」という表現がぴったりでオフェンスの選手の落

ち着きのなさは目を覆うばかり。前日と違って FW 起用された ^{かずき}2 年一^か生が相手 DF の連携ミスをしっかりついて一点を返すも、2 失点目と同様の CK から同様の選手に同様の形でヘディングを決められ、結局 1-3 の敗北。

二つの試合を通じて、分かりきった話ですが力不足を感じました。ですが日大戦で見た展開力あるサッカーなど、希望も感じました。これからなのでしょう。とはいえ、選手権一次予選はすぐそこ。悠長なことは言っていられません。良い準備をして臨みたいと思います。応援よろしくお願ひします。

7 月 20 日(日) 13:00~ VS 鶴岡東と長井高校の勝者 天童第三ピッチ(天然芝)